

持続可能で真に平等な社会の構築のために「共生」視点から徹底論究

入会して学会誌『共生社会システム研究』に投稿を!!

2006年10月に共生社会システム学会（日本学術会議協力学術研究団体）を設立して以来、122本の論文の投稿がありました。「人と自然との関係」からのアプローチが18本、「人と人との関係」からのアプローチが23本、両者に関係するものが55本、大会シンポジウム論文が26本という内訳になります。



『共生社会システム研究』は、大会シンポジウムのテーマを書籍のタイトルにして市販しています。ですからタイトルは毎年違いますが、その時々に関心の高いテーマを取り上げたタイトルになっています。

投稿論文は年々増加しています。持続可能で平等な社会、共生社会の構築のための論考ばかりです。「人と自然」、「人と人」との関係を、異質性・多様性を尊重しつつ、「〈コミュニケーション・合意・協働〉の一連の行為のあり方」ととらえる「共生」の視点から解き明かしています。

取り扱った具体例をあげれば、環境思想、コモンズ、フェミニズム、ESD、CSR、農学原論など理論的・理念的な課題から、



地域農業のシステム化・組織化、環境保全型農業、鳥獣害対策、アニマルウェルフェア、開発途上国の諸問題、多文化理解、社会的企業の活動、ESD・CSRの取り組みなどの現実的具体的な課題まで実に多様で広範囲にカバーしています。



学会は研究者会員が多数を占めますので、研究者会員の投稿が多いのですが、大学院生、NGO・NPOの方々も投稿もあります。とくに大学院生にとっては、研究成果の絶好の発表の場になっています。投稿は会員に限られますから、まず会員になっていただくことが必要です。

このウェブサイトを見た機会に、ぜひ共生社会システム学会に入会し、そしてぜひ投稿してください。あなたの学会入会と投稿をお待ちしています。

このウェブサイトを見た機会に、ぜひ共生社会システム学会に入会し、そしてぜひ投稿してください。あなたの学会入会と投稿をお待ちしています。